

## 授業科目 知覚伝達表現特論

Advanced Lecture : Expression for Perceptual Communication

担当 三枝 泰之

「近代」という巨大な枠組みの中で創作、表現するということはパッケージ可能な商品としてのアート制作ということと隣接している。

そこで現代に於ける表現の動機、制作、発表などを、興行という一義的なシステムだけで捉えることなく、パフォーマンスや学外に於ける課外体験などを通じ、根源的な「表現」に関わる動機、判断などの準拠枠を考察する。そこには教材として配布するレジュメや視聴覚教材などに加え、第三世界、異文化、周辺文化でのフィールドワーク、体験的な学習を取り入れたい。

自らの文化的土壌を客観的に対象化し、表現の枠組みと動機要因等を模索する。